

第6期 事業概要 (2019年3月期)

【基本方針】

当社は、「北欧時間が流れる森と湖での体験を通じて、こころの豊かさの本質を提供する」を企業ミッションとして、埼玉県飯能市に所在する宮沢湖において、北欧のライフスタイルやムーミンの物語の世界観を体験できる「メッツァ」を運営しております。当社は、来園されるゲストの皆様、株主の皆様、協賛企業、地元自治体・企業や取引先企業をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆様からの信頼と共感をもとに、キャッシュフローの最大化を達成することで企業価値を高めてまいります。

【経営環境】

当期におけるわが国経済は、製造業を中心に景気動向指標の悪化が見られ、緩やかな回復基調にあった各消費者意識指標にも頭打ちが見られる状況であります。

このため、レジャー市場を取り巻く環境は、国内はレジャー支出の動向には留意が必要であるものの、国のインバウンド誘致政策や東京オリンピック開催などによる訪日外国人旅行者数の増加などが想定されております。一方で、将来的には国内若年層人口の減少の進展、労働人口の減少が経営環境に影響をもたらすことなども考えられます。

このような状況の中、当社は「メッツァ」グランドオープンを目指し、前事業年度に引き続き、開業準備を進めてまいりました。当事業年度の11月9日に北欧のライフスタイルを体験できる「メッツァビレッジ」(入場料無料)を開業し、3月16日には、ムーミンの物語を主題とした「ムーミンバレーパーク」(入場料有料)を計画通り開業いたしました。

「メッツァビレッジ」開業時より予想を上回るゲストにお越しいたさき、開業5ヶ月(「ムーミンバレーパーク」開業初月)で50万人を達成いたしました。「ムーミンバレーパーク」においては、開業前より多くのメディアの注目を集め、従来のムーミンファン層の中心である30-50代の働く女性のみならず、10-20代の学生やカップル、あるいは幼年～小学生の子息を持つファミリーやその祖父母も含めて、幅広い年代・世代がゲストとして施設を訪れており、アトラクションやゲームなどの有料サービスを利用し、ショップ・レストランでパーク限定商品やオリジナルメニューをお楽しみいただいております。

以上の結果、当事業年度における業績は、開業前準備期間の費用負担が重く、売上高950百万円、営業損失1,146百万円、経常損失1,335百万円、当期純損失1,339百万円となりました。

第6期決算情報

埼玉県飯能市大字宮沢327番地6
株式会社ムーミン物語
代表取締役社長 渡邊 基樹

貸借対照表

(2019年3月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
流動資産	1,089	流動負債	1,403
固定資産	8,106	賞与引当金	21
		その他	1,381
		固定負債	6,060
		負債合計	7,463
		株主資本	1,716
		資本金	2,032
		資本剰余金	2,032
		資本準備金	2,032
		利益剰余金	△ 2,347
		その他利益剰余金	△ 2,347
		新株予約権	15
		純資産合計	1,732
資産合計	9,196	負債・純資産合計	9,196

損益計算書

自 2018年4月 1日
至 2019年3月31日

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
売上高	950	営業外費用	196
売上原価	802	経常利益	△ 1,335
売上総利益	147	特別損失	0
販売費及び一般管理費	1,294	税引前当期純利益	△ 1,336
営業利益	△ 1,146	法人税、住民税及び事業税	3
営業外収益	8	当期純利益	△ 1,339